

はばたき21通信

2002.12

NO. 3

What is gender?

LIBRARY

—図書情報—

フォーラム企画委員より

相談カウンセラーより

INFORMATION

—お知らせ—

プラザ開設1周年記念講演会

「21世紀の働きかた」

安心して働くことのできる仕事

＜ディーセントワーク＞



「はばたき21」男女平等推進プラザでは、昨年9月の施設オープンより1周年を記念して行うことになった「男女平等推進プラザ開設1周年記念講演会」を10月2日(水)に開催しました。

当日は、日本国際連合協会東京都本部共催のもと、ILO（国際労働機関）駐日代表でジェンダー特別アドバイザーでもある堀内光子氏をお招きして「21世紀の働きかた」～安心して働くことのできる仕

事＜ディーセントワーク＞～と題して基調講演が行われました。

ILOで労働問題に取り組んでこられた堀内氏は、ディーセントワークの基本的な考え方や必要性、ディーセントワークとジェンダーの密接な関係などについてお話されました。

その後、会場の参加者からの質疑応答も行われ、2時間が瞬く間に過ぎました。

その概要をご紹介します。

LIBRARY

ILOの目指すディーセントワークとは「働く人の人権が尊重され、労働保護があり、社会対話に参加できる、人間らしい仕事、それを人々が得ること」を指します。わかりやすくいうと、性別に関係なく仕事ができる環境が整っていて、人身売買などのような強制労働や児童労働がなく、失業等に対する社会保障・保護ができていて、働く人と雇用する人が労働に関する問題に取り組むために対話をする、ということです。なんでもないことのように感じられるかもしれませんが、世界ではディーセントワークから全くかけ離れた労働を強いられている人、または仕事のない失業者が多く存在します（貧困層は12億人、世界で5人に1人の割合、失業者は1億5000万人）。ILOでは強制労働・児童労働の根絶や世界的な失業問題や貧困に対する雇用の創出にも力を注いでいます。

また、世界的に労働への女性の参加は進んでいますが、不平等、差別、政策決定への参加不十分という女性の実態をふまえ、ジェンダーの主流化と女性の政策決定への参加にも力

堀内光子さん

ILO（国際労働機関）駐日代表
ジェンダー特別アドバイザー

1984年国連で女性の地位向上に関するナイロビ会議を担当。93年国連代表部で北京会議と社会開発サミットを担当。96年ILO職員としてタイ駐在。2000年より現職。女性の地位向上、経済的自立を目指し各国で活躍。



ディーセントワークの目標と達成に向けて

を注いでいます。この考え方は、女性を代表するというよりも、男女のバランスが取れた状態を目指しています。そのため女性に対話の場へ参加することが大切といえます。そして、女性が男性に追いつこうとするのではなく、男女共に自己の能力が発揮できるような機会を確保すること＝働く人の権利の尊重＝が大切です。

以上のように人間らしい生活をする＝ディーセントワークを達成するということは、ジェンダー問題への解決にもつながるといえます。

堀内さんの講演後に行われた参加者との質疑応答では、障害者が障害者のために自立生活を支援することを目標とした団体、自立支援センターたいとう(CIL)の方の発言や山谷地区での路上生活者や日雇い労働者のために活動を行っている、NPO法人



山友会の方の発言などもあり会場は熱気に包まれました。その中で、堀内さんは「（山友会の方が）活動が続けていく中で、実際に現場にいて活動をしている人たちが、そういう人たちに何がしたいのか、何ができるのか、どうやったら現実にできるのか、受身ではなくどういうことができるのかということ」を議論すること、声をあげることが大切だと思います」という発言をなさり、そのメッセージは私たち、男女平等推進プラザという場で活動しているものにとっても、大切なことなのだと考えさせられました。

記念講演会の企画・運営に携わった区民の方は「大きな講演会なので準備が大変だったが、打合せなどの話し合いを通じて、国連やILOで活動しているいろいろな方たちの意見や考え方を聞いて、大変やりがいがあり、楽しかった」「今回の講演会は、労働という言葉に敏感でない世代にはあまり身近に感じられないのでは、という不安もあったが、講演を熱心に聞いてくれ、質疑応答でも感動させられるようなメッセージを述べた区民の方もいてとてもよかった」等の感想を語ってくれました。

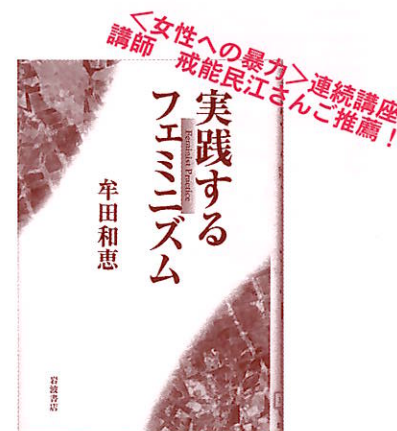


『女子高生のための性とからだの本
からだの気持ちをきいてみよう』
大橋由香子 ユック舎

女子高生のための・・・と銘打った本ではあるけれど、この本は、女子高生だけではなくて、男子高生にも、大人の女性たちにも、男たちらにも是非読んでほしい本。

十代の女性たちが、感じているだろう不安や、好奇心に寄り添いながら、率直に、そして具体的に、からだの気持ち、のきき方を教えてくれる。第一章が、気持ちいいからだ「なぜセックスするのか」、第二章が悩み迷うからだ「からだの声を聞いてみる」、そして第三章が「からだをどう守るか」。

著者の大橋由香子さんは、「SOS! 女の子のからだから」という女性たちのピア・グループのメンバーで、そこでのたくさんの語り合いを通して、自分のからだの気持ちをきく方法を見つけてきたという方。



『実践するフェミニズム』
平田和恵 岩波書店 2001

フェミニズムは実践のためにある。そして、その実践とは、私たち一人ひとりが、日常の現場での人々との関係を、よりラクに、のびのびと、自分らしく生きていくことだ、と著者は宣言する。

この本は、フェミニズムを「女性の権利ばかり言い立てる口やかましい人々」のものと思っていたり、自分とは関係のない「難しい学問」だと考えて少し遠ざかっていたかと思う。遠くの人、そして、自分と社会の新しい見方を得たいと考えている素敵なフェミニストたちに、オススメの一冊！まず手にとり、本書に収められたコラムを読んでみて下さい。自分と社会、そして今という時代と、自分自身の新しい関わりから、一歩、歩を進める元気がでてくる、そんな本です。



『目不酔草紙 めさましそうし』
河野貴代美 ミネルヴァ書房1997

「この本、すてきな本だよ」と、こっそり教えたいくなる本。

著者の河野貴代美さんは、フェミニストカウンセラー、フェミニストカウンセラーを日本に定着させたフェミニストカウンセラーの草分け的な存在。

この本は、そんなフェミニストカウンセラーからみえる人々や社会をまとめた短いエッセイのアンソロジー。

そうか、カウンセラーも日々立ち止まったり、あれやこれや迷ったり、嫌になったり、楽しくなったりするのだな、という当たり前のことが見えてくる。そして、この本には、たくさんの問いかけが含まれていて、静かな問いかけ。誰か、答えてくれる人が決まっているわけではないけれど、読み手である私も、呼びかけられていると思えてくる。

フォーラム企画委員より

女と男のたいとうフォーラム2002～ジェンダーへの気づき～が11月16日無事終了しました。

今年は5つのワークショップと齊藤学先生を講師としてお迎えした講演会を盛会の内に終える事ができ、企画委員一同ほっとしています。たいとうフォーラムは公募によって集まった企画委員がそれぞれ意見を出し合って作りあげてきました。テーマは毎回ジェンダーを根幹として、サブタイトルを相談しフォーラムの内容を検討してきましたが、回を重ねる毎にその意味するところの重さに戸惑いを感じます。それは、家族の問題やドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント等々、家庭や学校、職場にみられる身近な問題を背景としているテーマだからだと思います。

平成11年に男女共同参画社会基本法が施行されてから3年経過しましたが、ジェンダーフリーの世の中が本当に出来つつあるのか、一人一人が問われているように思います。フォーラムを通して男性中心の尺度で作られている社会をいろいろな角度からチェックし、素直な気持ちを意見として疑問を発信できればと思っています。

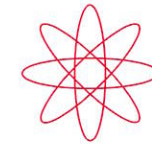
また、台東区は23区内でも少子・高齢化の進んだ区としての個性をもっています。それをポジティブに受け止めて、障がい者もお年寄りも含めたジェンダーフリーを目指したいと思っています。今後共、フォーラムがみなさん一人一人の知識のカギとなれば・・・と願っています。

用語解説

ILO・・・仕事に関する基本的人権の推進、労働・生活条件の向上を目的とした国連の専門機関

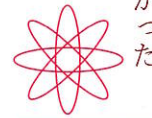
ジェンダー・・・社会的・文化的につくられた性役割。ジェンダーの主流化とは男女平等の主流化のことを指す。

NPO法人・・・民間非営利団体などと訳される。行政や企業から独立して、社会貢献や慈善活動に従事する非営利組織のこと。



不況とともに転職が非常に難しくなった現在「職場の人間関係が嫌だからと言って安易に退職するわけにもいかず、我慢の日々」という方からの相談が増えています。相談内容も、上司同僚と上手くいかない、セクシュアル・ハラスメント、リストラ、同族企業の大変さ（経営者の妻、一族の嫁、企業の従業員として一人何役もこなす日々）など、職場環境の悪化とともに多様化しています。

なかでもセクシュアル・ハラスメントは、平成11年4月に施行された男女雇用機会均等法で事業主に防止のための配慮義務が規定されました。具体的な内容としては、性的な冗談を言う、食事やデートに執拗に誘う、性的な噂を流す、必要がないのに身体に触る、性的関係を強要する、ヌードポスターを貼る等々の行為です。性的な冗談にいちいち反応するのは大人気ないとは思いますが、どうしても慣れることが出来ない「しつこい食事の誘いをはっきり断りたいが次の日から気まずくなるのは困る」など、昔から女性が苦慮してきた問題です。働く女性が弱い立場に追いやられ、時には泣き寝入りせざるを得なかった



はばたき21 相談室

★ ことろと生き方なんでも相談 ★

◆予約制◆電話でも面接でも◆無料◆一回50分

相談日 火 10:00~16:00 水 17:00~21:00
木 17:00~21:00 土 10:00~16:00

★ 女性弁護士による法律相談 ★

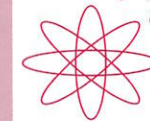
女性弁護士による結婚や離婚、親子、子供などの人権に関する問題専門の法律相談です。◆無料◆一回50分

相談日 毎月第2水曜日 13:00~16:00
第4火曜日 16:00~19:00

予約専用電話 03-5246-5819

セクシュアル・ハラスメントを無くすためには、社会全体が理解を深めていく必要があります。もしかしたらこれってセクシュアル・ハラスメントかな？このくらいで相談なんて大げさかな？と思う時でも遠慮なく相談予約を入れて下さい。

身体が風邪をひくように、時には、心も風邪をひきます。心の風邪もこじらせると命に関ることがあります。心の風邪をこじらせないコツは、早めに専門家に相談することです。セクシュアル・ハラスメントに限らず、ちよつと不調だな、最近ストレス多いかな？と思ったらお気軽に相談においでください。



Information

—お知らせ—

◆生涯学習ラーニングスクエア(女性セミナー)

ジェンダーってなに?~自分らしく楽しく生きる~

日時:1/9~2/6の毎週木曜日(全5回)

講師:田代美江子(女性栄養大学助手、早稲田大学非常勤講師)

小林 由美(埼玉県立大短期大学部助産学講師 第4回目のみ)

場所:千束社会教育館

時間:18:30~20:30

対象・定員:30名(女性・男性)

受講料:無料

申込方法:お電話にてお問合せください。

◆生涯学習ラーニングスクエア(女性セミナー)

今、私のいるところ

日時:2/19~3/19の毎週水曜日(全5回)

講師:米田佐代子(前山梨県立女子短期大学教授、女性史研究家)

場所:根岸社会教育館

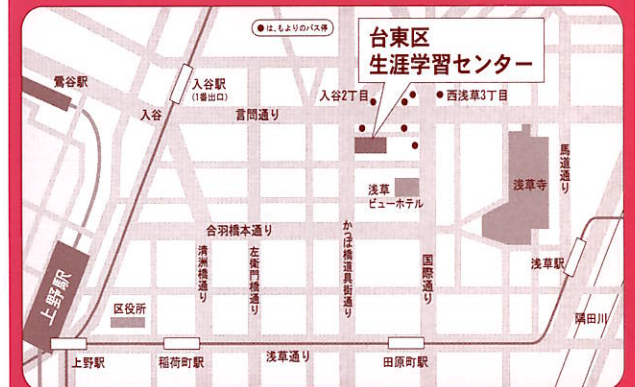
時間:18:30~20:30

対象・定員:女性30名

受講料:無料

申込方法:お電話にてお問合せください。

すべてについてのお問い合わせは
TEL(5246)5816



はばたき21 男女平等推進プラザ

♪所在地:〒111-8621 東京都台東区西浅草3-25-16
台東区生涯学習センター4階

♪交通機関:地下鉄日比谷線「入谷」駅から徒歩8分
都バス足立梅田町~浅草寿町、亀有駅~上野公園
上記2ルートの「入谷2丁目」下車徒歩1分

♪開館時間:午前9時~午後10時

♪休館日:月曜日(祝日にあたる場合は翌日)、年末年始

♪図書貸出:午前9時~午後8時(日曜・祝日は5時まで)

♪TEL: 03(5246)5816

♪FAX: 03(5246)5814

♪E-mail: habataki21@taitocity.net

♪URL: http://www.taitocity.net/habataki21

発行:台東区教育委員会 生涯学習課 男女平等推進プラザ
発行日:2002年12月